

## 就職活動中の学生が知りたい情報がもっとも開示されている CSR 等報告書は 「サントリーグループ CSRレポート 2015 詳細版」

2015 年 12 月 9 日

東京都市大学環境学部 枝廣淳子研究室

幸せ経済社会研究所

東京都市大学環境学部枝廣淳子研究室(横浜市都筑区)と幸せ経済社会研究所(有限会社イズ内、本社:東京都世田谷区)は本日、「地球と自分を幸せにする企業の情報の見つけ方」プロジェクトの調査結果を公表しました。

このプロジェクトでは、就職活動中の学生に人気がある企業 41 社の CSR(企業の社会的責任)情報が掲載されている CSR 報告書・サステナビリティレポート、統合報告書、アニュアルレポートを「就職活動中の学生が知りたい情報が記載されているか」という点から分析しました(目標の高低や達成状況の評価など情報の中身の優劣ではなく、情報記載の有無だけを調べています)。調査の結果、「就職活動中の学生が知りたい情報」の開示度の高い報告書を発行している上位 10 社は以下の通りでした(120 点満点)。

- 1位 サントリーグループ(119 点)
- 2位 味の素株式会社(102 点)
- 3位 損保ジャパン日本興亜ホールディングス(100.5 点)
- 3位 三井住友海上火災保険(MS&AD ホールディングス)(100.5 点)
- 5位 凸版印刷株式会社(100 点)
- 6位 東京海上ホールディングス(96 点)
- 7位 資生堂グループ(95.5 点)
- 7位 りそなホールディングス(95.5 点)
- 9位 伊藤忠商事株式会社(95 点)
- 9位 日立グループ(95 点)

1位のサントリーグループの CSR 報告書は、120 点満点中 119 点と、就活生・学生が就職を考えるにあたって知りたいと思う情報を網羅的に開示している報告書でした。特に、企業そのものについての情報(企業軸)だけでなく、従業員にとってどのような職場なのかについての情報(自分軸)についても、制度や取り組み、実績、データなど伝えるものとなっており、このような報告書が増えれば、自分の関心に沿った情報を得た上で就職を考えられる学生が増えると思われます。

なお、上位 10 社の調査対象報告書はすべて「CSR 報告書」であり、統合報告書やアニュアルレポートは 1 つもありませんでした。就活生・学生が求める情報を探すには CSR 報告書が有効であることがわかります。

# Press Release

41社の総合点の平均点は75.8点でした。41社の結果の分析から、以下の全体的な傾向がわかりました。

- 自分軸に比べ、企業軸の情報を厚く開示している報告書が多い  
→企業軸の平均点は51.5点、個人軸の平均点は24.4点でした。
- 報告書の種類別に見ると、統合報告書・アニュアルレポートは、全般的に得点が低く、就活生・学生の求める情報の開示が少ない  
→総合点の平均値を見ると、CSR報告書は78.5点、統合報告書・アニュアルレポートは67.6点でした。
- 就活生にとって重要な情報である個人軸について多く掲載しているのはCSR報告書が多い  
→個人軸の平均点はCSR報告書が27.2点で、統合報告書・アニュアルレポートは15.5点でした。

このプロジェクトを主導した東京都市大学の枝廣淳子教授は、「CSR報告書には、就活生や学生が知りたい情報もたくさん掲載されています。このプロジェクトを通して、就活生には企業研究にCSR報告書を活用できることを伝えたい。企業には、投資家向けの情報だけではなく、就活生・学生などのステークホルダーが関心を持つ情報をもっと掲載してほしい」と述べています。

なお、本プロジェクトの詳しい内容については、近々発行予定の『就活生・学生のための「地球と自分を幸せにする企業」の情報の見つけ方」ガイドブック』をご覧ください(枝廣研究室ウェブサイトアップされます)。

- 東京都市大学環境学部 枝廣淳子研究室

URL:<http://www.yc.tcu.ac.jp/~edahiro-web/index.html>

**【本リリースに関するお問い合わせ】**

幸せ経済社会研究所(有限会社イズ内)

新津尚子

〒156-0055

東京都世田谷区船橋 1-11-12 産興ビル 3F

電話:03-5426-1128 FAX:03-6413-3762

E-mail:info@es-inc.jp

# Press Release

## <資料編>

### 【プロジェクトの進め方】

- (1) 就活生・学生が「就職にあたって企業について知りたい情報」を、約 200 名の学生から集めました。学生が知りたい情報は「企業についての情報(企業軸)」と、「従業員個人にとっての情報(自分軸)」に分かれることがわかりました。
- (2) 学生から集めた「知りたい情報」を、企業軸・自分軸ごとに、米国の心理学者マズローの5段階欲求理論に「利他・コミュニティ発展の欲求」を加えた「欲求5+1段階」の枠組みにまとめ、スコアシートを作成しました(表1)。
- (3) 独立した4つの「就職したい企業ランキング」のすべてに取り上げられていた企業を調査対象としてリストアップしました(表2)。
- (4) 各社の CSR 報告書、統合報告書などを対象に、(2)のスコアシートに基づき、情報の記載の有無を調査しました。
- (5) 企業軸・自分軸の各欲求段階(6段階)のそれぞれの段階に 10 点ずつを割り当て、各報告書の点数をつけました(企業軸 60 点、自分軸 60 点、総合点 120 点)。同時に、全体の傾向を分析しました(グラフ1)。

表1:「マズローの欲求5+1段階理論」に基づく本プロジェクトの分析枠組み

【企業軸】知りたいこと	マズローの欲求段階	【自分軸】知りたいこと
未来世代の幸福や持続可能性を考えているか	利他・コミュニティ発展 (10点)	自分の追求したい利他的活動がやりやすい環境か
途上国のことを考え、取り組んでいるか		
企業理念やミッションがあるか	自己実現 (10点)	自分の自己実現を支援してくれるか 社内でやりたい業務やプロジェクトに手を挙げてチャレンジできるか 自己実現を追求できるよう、柔軟な働き方ができるか
社外の評価を採り入れているか	承認 (10点)	従業員の声に耳を傾け、経営や CSR 活動に採り入れているか 多様な人々が認められ、活かされているか
日本社会の一員、地域社会の一員となっているか	所属(10点)	多様な状況でも、働き続けることができるか
法令遵守(コンプライアンス)をきちんと行っているか	安全 (10点)	安心して働ける安全な職場か
企業活動の土台である地球の持続可能性を守ろうとしているか		
経営は安定しているか	生存・生理的欲求 (10点)	健康で働き続けることができるか 健康を守るため、残業時間を抑制するしくみがあるか どのくらい働き続けることができる仕事か、働き続けたい職場か きちんと休みがとれるか

